

## 直播時代の幕明け

昨年、農林水産省の指導により農産業振興奨励会が運営に当たった低コスト水田作技術開発事業、すなわち湛水土壤中直播のテストは、全国13か所のモデル集団によって行なわれ、移植に対し23.7%の省力、7.2%の資材節約、収穫は99.9%と移植並となることが実証され、ほぼ予想通りの成績となった。

細かくいえば、播種機の性能不足、施肥体系の不備、鳥害（カモ）対策の遅れなど問題点が指摘されているが、本栽培法の普及について関係者に強い自信を与えた。

今年は西南暖地を中心に3000ヘクタール以上の水田が直播に代わって行くものと考えられ、日本式直播方式もようやく幕明けの時代を迎えたとの感が深い。

3年続きの不作は、農家の手抜き作業の結果だと非難がましい話もあるが、年々国民の所得水準が上がっている中で、少しでも労力を節約して時間当たりの収入を増やそうとするのは、当然の経済行為であって、さらに省力無人化へと進むのは、何も第二次産業だけの特技ではあるまい。その意味で、上記の数字は、単に低コストという以上の味わいがある。

それはそれとして、現在直播用の除草剤としては、ピラゾレートしかなく、ミズガヤツリなどに効果不十分であり、幅の広い残効のやや長い直播用除草剤の出現が望まれている。また、アオミドロによる水温の低下は、移植の場合より影響が大きく、その防除が切望されている。会員各位のご援助をお願いする次第である。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 石本信夫〕  
保土谷化学工業株式会社取締役農業部長

## 目次 (第17巻第12号)

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 兵庫県における野菜花き栽培用除草剤・生育調節剤使用の現状と将来…………… | 2 |
| ＜兵庫県農業試験場 大西忠男＞                      |   |
| 1. はじめに……………                         | 2 |
| 2. 野菜栽培における除草剤・生育調節剤の利用状況……………       | 2 |
| 3. 花き栽培における除草剤・生育調節剤利用の現状……………       | 4 |
| 4. 除草剤使用上の問題点……………                   | 4 |
| 5. 除草剤・生育調節剤の将来について……………             | 5 |
| 6. おわりに……………                         | 6 |

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 昭和58年度水稲作関係除草剤試験成績概要…………… | 7 |
|---------------------------|---|

### ＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 第1表 水稲作関係除草剤適1試験成績判定結果一覧表…………… | 7  |
| 第2表 水稲作関係除草剤適2試験判定結果一覧表……………   | 11 |
| 第3表 水稲作関係除草剤適2使用基準一覧表……………     | 12 |

### 本誌掲載原稿の募集

本誌を愛読されている皆様より、原稿を募集しておりますので、ご寄稿下さい。内容は、除草剤、生育調節剤に関する記事であればよく、400字詰原稿用紙で20～30枚位、図・写真の挿入も可。原稿料は、当協会の規程によりお支払いいたします。